

「鮮度一番！」

No.168

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

1～2 / 明日への一歩 ～宮城からの復興だより～第9回

2～3 / 運営委員会で話されたこと

3～4 / 新コーナー「ちょこっと能楽話」

4 / 「わっち」のご紹介

5 / 参加報告

6 / 会員募集・投稿募集のお知らせ 編集後記

明日への一歩

～宮城からの復興だより～

第9回

「私にとっての3. 11～あの日から2年」

東日本大震災の発生から、2年が経ちました。

宮城における復興に向けた様々な取り組みをお伝えしているこのレポートですが、今回は、私にとっての3. 11についてお話したいと思います。

私は宮城県仙台市の出身ですが、震災発生時は山形県山形市に住んでいました。その日は仕事の関係で日本海に面した鶴岡市に向かうため、高速道路に乗っていました。知人からの電話により、宮城県沖で巨大な地震が発生したことを知り、急いで山形市に戻りました。

山形市内も電気・ガス・水道といったライフラインは止まっており、街中は大混乱でした。消防団らしき方々が交通整理をしていたこと、ようやく山形市内に戻ってきた時はすでに夜で、真っ暗な中仕事仲間と情報収集をしたこと、普段は見えない満天の星空を悲しい気持ちで見上げたこと・・・今でも鮮明に覚えています。

宮城県内に入ったのは、震災発生から2日後のことでした。実は、家族の安否については、震災発生直後にわかっていました。奇跡的に母と電話が通じたのです。家族の無事や家の中の様子など聞いていたので、不安はそれほどありませんでしたが、それでも両親の顔を見れた時は、本当に心の底からホッとしました。この時ほど、家族の大切さを身に沁みて感じたことはありませんでした。

昨年も今年も、3. 11の少し前から県内各地で追悼式典や復興イベントなどが開かれ、当時の状況や現在の復興の様子がメディアで取り上げられる回数も増えています。この日はきっと、日本中のたくさんの方が、2年前のあの日を思い出すことでしょう。

自然災害の恐ろしさ、亡くなられた方の命の尊さ、人の暮らしのあり方、東北の復興への歩み・・・想い方も、この日の過ごし方も、人それぞれだと思います。

私にとっての3. 11は、「大切な人を大切に想いながら過ごす日」です。

普段県内をあちこち動き回っている私ですが、3. 11という日は両親と静かに過ごす時間をもつようにしています。日頃なかなか口に出せない、感謝の気持ちを込めながら・・・

皆さんは、今年の3. 11に何を想い、どのように過ごされましたか？

支援者のための支援センターTOMONY 事務局
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター
菅原 清香

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成25年3月6日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター



3月は、悲しく悔しい東日本大震災の月。
日々の生活を大切にして、自分に出来ることを精一杯やろうと胸にきざんでいきます。私達の元気こそが、復興に繋がると信じているから。
次回の運営委員会は、4月3日(水) 9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいで下さい。

1. 総会について

例年5月下旬頃に開催している総会ですが、まずは、記念講演の講師の予定に沿って日時を決めることにしました。

運営委員会終了後、第1希望講師に交渉の結果日程が決定しました！

日時は、5月26日(日) 午後5時より、会場は、「まるい」です。

そして、総会終了後に行う記念講演会の講師は、三条商工会議所の齋藤弘文会頭です。齋藤会頭は、三条における企業の発展の様子をつぶさに見てきた経験から、講演の内容については、リクエストに応じてくださるとのことです。何か、聴いてみたいことがありましたら、ご連絡ください。

皆様、今から日程の調整をして、「三条女性会議の会員全員が出席！」くらいの勢いで総会へのご出席を心からお願い致します。

2. 映画「じんじん」実行委員会について

三条市からの声かけで、2月23日(土) 映画「じんじん」の試写会へ西方、野崎が参加しました。俳優の大地康雄さんが、企画・主演しており「〈絵本の心〉をテーマに、人と人の心が交い合う未来を目指して」創られた映画です。

今後、映画「じんじん」をどのように広げていくのか実行委員会を立ち上げるそうですので、当会からは、西方久子さんに参加してもらうことになりました。

3. 第3回日本認知症予防学会学術集会への後援について

川瀬弓子さんより上記学術集会への後援依頼がありました。

平成25年9月27日~29日、新潟市の朱鷺メッセで開催され、テーマは、「匠と語り部の出会い」多職種協働と地域連携、大会長は、川瀬神経内科クリニック理事長川瀬康裕さんです。

高齢化に伴い急速に増加する認知症患者に対して、早期診断・早期介入をさらに進めた先手の取り組み「認知症予防」について話し合われるそうです。

私達の老後のために諸手を挙げて後援をする事としました。

4.

審議会等について

安室さんより下記の報告がありました。

三条市介護保険運営協議会

第4回地域包括支援センター運営部会報告

安室 久恵

第4回地域包括支援センター運営部会が2月26日（火）、市役所第二庁舎会議室で開かれた

今回の会議では、主に平成24年度地域包括支援センターの事業実施状況の説明と、25年度地域包括支援センターの事業計画、収支予算案について、委員と事務局で質疑応答ののち内容について了承された。

報告事項として、介護サービスの基盤整備計画にある特別養護老人施設の100床の決定が報告された。

5.

燕三条エフエム放送(ラジオは～と76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば” 〈放送時間が、変更になりました！〉

●本放送 毎週木曜日 11:30～12:00 ●再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

2013年度上半期4月から6ヶ月間の放送分の収録がはじまります。

4月のテーマ ・脱「男はつらいよ」を予定しています。

4月の4週分、男の地域デビュー等についてワイワイしゃべりたいと思います。
どうぞお聴きください。

メンバー：宇治 勇、早川もとよし、野崎ミチコ、田辺とも子

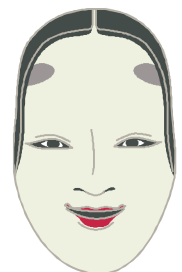
(田辺)

新コーナー

ちよこっと能楽話 第2回

きっかけ

川瀬弓子



今回は私と能楽の縁をご紹介します。

長男が年長の頃、何か特技を身につけさせたいと思っていました。長岡市に住んでいたころです。子どもらしい子ども、という先生評価でしたが、何か自信につながるものを持っていたら将来にわたって良いかなどの親心ですね。

そこで当時お習いしていた草月流の先生にご相談してみましたら、同席されていたどこかの奥さんが「男の子ならオシマイでしょう」「オシマイ？シシマイ？」程度の知識だったので早速おばあちゃんに相談、人のツテをたより宝生流囃託師範小林季久江先生を紹介していただきました。偶然でしたが小林先生のご主人様は主人の指導医でいらっしやいましたし、私たち

が住んでいた長岡日赤の借り上げ社宅の前の住人でもいらっしゃったのです。二重三重のご縁に気をよくしてまだ運転免許を持っていなかった頃、バスで川向こうまで通いはじめたのです。

しばらくして先生が「お待ちになっていらっしゃるならお母様もいかがですか？」とのこと、ちょこっと入ったのが始まりで、あっという間の30年です。 やっと今「歩くこと」が少しわかりはじめてきたところですよ。初心の頃は、謡って所作をして歩く、この3つの動作を一時に行うことがいかに難しいかにぶつかります。 何とか形（かた）を覚えても、先生のお稽古場ではできても舞台ではできないのです。方向感覚が狂うのですね。

さらに仕舞や舞雛子の地（じ）につく時は無本（暗記）です。

形と言ひ謡と言ひ、老化予防には大変効果的な、格調高い趣味であると実感しています。それが証拠に能楽師のベテランは80～90歳、60～70歳でやっとな、40～50歳はまだまだ、といわれており、みなさまお達者です。

700年の歴史の能楽の世界でしかも素人の趣味での30年は能楽の入り口にやっとな立っているというようなものです

奥が深いということを今更実感しています。

それでは、職分（プロ）渡邊荀之助先生の真似っこをして「今回はここまで」

【「わっち」のご紹介】

こころの茶の間 「わっち」

早川 壹禧

1月の「寒ブリ新年会」の会場となった地域の茶の間『わっち』について、日頃何をやっているところかよく分らん、内容について紹介してほしいと一声あり。ということで、ご紹介いたします。

平成16年（7.13 水害の年）に定年退職後、福祉関係のボランティア活動で知り合った有志が集まり、介護認定を受けない高齢者の居場所、仲間作りの場として開設しました。「笑顔でつながる支え合い」をモットーに、いろいろなことがありましたが、かかわってきた人たちの努力により、乗り越え、育てて、現在に至っています。

参加される方には、誰でも、どこからでも、自由に、気楽に、自分の家のように利用していただきたいと願っています。ボランティアグループむかご6名が担当しています。一度、お立ち寄りください。

- | | |
|------|------------------------------|
| ◆名 称 | 地域の茶の間『わっち』 |
| ◆実施日 | 毎週木曜日（祭日は休み） |
| ◆時 間 | 午前10時から午後3時 |
| ◆参加費 | 100円（お茶代） 食事される方は300円 |
| ◆場 所 | 東大崎2丁目4-20-6 大崎駐在所並び、ローソン向かい |
| ◆電 話 | 39-3230 |

【参加報告】

「第8回静岡県内外の災害ボランティアによる 救援活動のための図上訓練」に参加して

宇治 勇

3月2日～3日、静岡駅前にある県労政会館で、県内外の団体から約400名が集まり、「第8回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」が開催された。

開会、オリエンテーションから始まり、第1部のパネルディスカッションでは、遠野市市長が、東日本大震災の沿岸地域の後方支援の話、日ごろの備えや準備の大切さと、目の前で突然起きた現実に苦慮したという話をされた。その後の説明の部で、県危機管理報道監の「南海トラフ巨大地震の被害想定と東海地震第4次被害想定に向けて」の話があった。この1、2年で大災害への対応や危機感が変わったことを感じた。

次いで第2部では、「災害時のおつきあいから平時のおつきあいへ」と題し、各団体が事前に作成した団体シートや、PRシートによってワークショップとセッティングタイムをとり、交流希望団体投票に移った。続く懇親会は「つながりをさらに強めよう」として、同会場は楽しい交流の場となった。

翌日の第3部では、ワークショップ「支援の来ない地域をつくらない。継続した関係をつくる」とし、マッチングの調整、組み直しが行なわれた。当団体（にいがた災害ボランティアネットワーク）の事務局長が統括された。わたしは、付き合いの長い清水区に入り、「清水災害ボランティアネットワーク」や「山形災害ボランティアネットワーク」の方々と一緒に、ケーススタディ①「ボランティアの人数」②「多様性ニーズにこたえる」について、それぞれ対応策を検討し、シートにまとめ、代表が発表した。

最後のしめくくりで、全員が会場に集まり、代表団体の発表があった。

災害は突然にやってくる。地域コミュニティーを通して、日ごろから、安心・安全で住みよい町づくりを目指し、それぞれの考え・立場をこえて、減災・防災に向けてガンバロー！



三条女性会議では随時会員を募集しています

Q. 三条女性会議って、どんな団体？

A. 女性と男性があらゆる分野で、共に参画し、支え合う社会をつくることを目的に活動している市民活動団体です。

Q. どんな活動をしているの？

A. はい、次のような活動をしています。

●燕三条エフエム放送で“ワイワイ女性ひろば”を担当（4月～9月）

本放送 毎週木曜日 11:30～12:00 再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

●毎月会報“鮮度一番！”の発行やホームページによる広報活動

●その他、男女共同参画社会実現に向けた活動

Q. 誰でも入れるの？

A. はい。女性だけでなく男性の会員さんも活躍しています。

年会費： ・一般会員 3千円 ・賛助会員 3千円 ・団体会員 1万円
連絡先： 野崎ミチコ Tel 32-3667 / E-mail: info@joseikaigi.net
ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

◆会報“鮮度一番！”への投稿を募集しています

“鮮度一番”では、あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。

どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

●三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net

●FAX 0256-32-3679

●〒955-0044 三条市田島 2-12-12

編集後記：

春の足音を聞いて我が家のおじいちゃん・おばあちゃんは、まるで冬眠から目覚めるように外へ…畑へ…田んぼへと足が向いています。その背中からは「TPPなんかくそくらえ」と言っているようでちょっと悲しく見えてきます。

鮮度一番168号春一番に乗せてお届けします。どうぞ隅から隅までお読みください。（原）

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>